

# 救護施設 大阪市立港晴寮



救護施設 大阪市立港晴寮は、社会福祉法人みなと寮が、大阪市から指定管理者の指定を受けて運営する福祉施設です。

60年の歴史を持つ当法人の中でも2番目に出来た施設であり、当法人で最初に運営を開始した救護施設です。

救護施設とは生活保護法に基づく福祉施設であり、福祉の原点とも言われている施設です。身体上や心身上の理由などにより、独立して日常生活を営むことができない障がい者や生活困窮者を対象に生活全般の支援を行い、健康で文化的な生活を提供しています。

利用者が自立し社会復帰できることを目指して、残存能力や社会資源などを活用し自らの判断と決定により主体的に生活して頂けるよう支援しています。

## 【平成26年3月2日 港晴フェスタ（港晴小学校にて）】



年に一度の地域のお祭り、「港晴フェスタ」に参加させていただきました。

オープニングは体育館で、港中学校の皆さんのプラスバンドの演奏です。

港区の副区長さんも来られ、ご挨拶されていました。

港晴地域での大きなお祭りです。

午後からは、グラウンドにたくさん屋台が出ていましたので、利用者の皆さんと一緒に楽しみました。

いろんな食べ物を楽しみました。

また次回もぜひ、参加させて頂きたいと思えます。







## 【日帰りレクリエーション 平成26年2月10日】



梅ジュースづくり体験



お土産物屋さん

施設電気系統の工事のため、日中停電になるとのことで、ほとんどの利用者さんと一緒に、白浜へ日帰りレクリエーションに出かけました。

せっかくの白浜ですので、日帰り入浴のお風呂に入ったり、梅ジュースづくり体験をしたり、お土産ものを見て回ったり、ゆっくりと楽しんで帰ってきました。



お待ちかねのお食事タイムは、「すたみな太郎」というお店で、焼肉バイキング、お寿司など、いろいろな献立でおなががいっぱいになりました。

## 【将棋・五目ならべ・オセロ大会 平成26年3月8～9日】



将棋・五目ならべ・オセロ大会を開催し、2日間にわたり、熱戦が繰り広げられました。

参加者には参加賞（お菓子詰め合わせと缶飲料）が配られ、優勝者の方には賞状と記念品とが手渡されました。

わきあいあいとした中でも、皆さん熱心に勝負され、楽しいひとときをお過ごし頂けたかなと思います。

## 【港晴ふれあい喫茶「フレンド」参加 平成 26 年 2 月 22 日】



愛称	開催日	時間	場所
フレンド	第4土曜日	9:00~12:00	港晴東会館老人憩いの家

毎月第 4 土曜日（1・8 月以外）に行われている、港晴ふれあい喫茶『フレンド』に、初めておじゃまさせていただきました。

場所は、港晴東会館老人憩いの家です。

2 月 22 日には利用者 5 名と職員 2 名で行かせていただきました。軽食のメニューはとも美味しく、これからもぜひ参加させていただきたいと思いました。

地域の方々も参加しておられ、港晴寮からも参加する中で、地域の皆さまとの交流が深まればと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【編集後記】いま、社会福祉法人への注目度が高くなっています。一部の社会福祉法人が、税制面での優遇を受けながらも、多くの内部留保金があることを批判されています◆福祉に参入する民間事業者と同じ待遇を、とも言われています◆しかし、社会福祉法人が提供するサービスは長い歴史と技術があります◆当法人では、ホームページを通じた財務諸表の公開や各種情報発信に以前から努めています。◆社会貢献事業についても、実績を上げ、今後も充実させていきます◆何かありましたら、気軽にご相談ください。

### <<<社会福祉法人みなと寮の情報公開>>>

☆社会福祉法人みなと寮ホームページ

<http://www.minatoryo.or.jp/>

☆大阪市立弘済院第 1 特別養護老人ホーム

<http://www.kosaiin1toku.jp/>

また、平成 24 年 11 月 19 日に、当大阪市立港晴寮のホームページを開設しました。

施設行事や、利用者提供する献立紹介など、情報公開を実践しています。

☆港晴寮ホームページ

<http://koseiryoo.org/>

そのほか、当法人へ就職を希望される学生の皆さま向けに、採用情報サイトを運営しています。 ☆みなと寮採用情報サイト <http://minatoryo.com/>



発行：港晴寮広報担当（編集委員：木田・辻下）

〒 552-0023 大阪市港区港晴 2-4-25

発行年月日：平成 26 年 4 月 5 日

TEL 06-6572-0061 FAX 06-6575-1061